

〈語彙リスト〉

名詞

雰囲気(ふんいき) – Atmosphere

例: クリスマスが近い雰囲気が感じられる。

Atmosphere of Christmas is in the air.

年中行事(ねんじゅうぎょうじ) – Annual event

例: お正月は日本の代表的な年中行事です。

New Year's is one of Japan's representative annual events.

偶然(ぐうぜん) – Coincidence

例: 偶然、駅で友達に会った。

I ran into my friend at the station by coincidence.

歴史(れきし) – History

例: 歴史を学ぶのが好きです。

I like studying history.

定番(ていばん) – Standard; classic

例: ラーメンは日本料理の定番です。

Ramen is a classic of Japanese cuisine.

商戦(しょうせん) – Sales strategy; sales campaign

例: バレンタイン商戦も盛り上がっています。

Valentine's sales campaigns are also heating up.

幻想的(げんそうてき) – Fantastical; dreamy

例: イルミネーションは幻想的でした。

The illuminations were fantastical.

好景気(こうけいき) – Economic boom

例: 好景気の時代は給料が高かった。

During the economic boom, salaries were high.

動詞

飾る(かざる) – To decorate

例: 部屋にクリスマスツリーを飾る。

We decorate the room with a Christmas tree.

定着する(ていちゃくする) – To become established

例: この習慣は日本に定着しました。

This custom became established in Japan.

思い浮かべる(おもいうかべる) – To think of; to recall

例: 子供の頃を思い浮かべました。
I recalled my childhood.

過ごす(すごす) – To spend (time)
例: 友達と楽しい時間を過ごしました。
I spent a fun time with my friends.

盛り上がる(もりあがる) – To get excited; to become lively
例: パーティーはとても盛り上がった。
The party got very lively.

形容詞
オシャレな – Fashionable; stylish
例: オシャレなレストランに行きました。
I went to a stylish restaurant.

嬉しい(うれしい) – Happy; glad
例: プレゼントをもらって嬉しかった。
I was happy to receive a present.

冷たい(つめたい) – Cold (to the touch or emotionally)
例: 冬の冷たい風が気持ちいいです。
The cold winter wind feels nice.

副詞
まったく – Completely; totally
例: その話はまったく理解できませんでした。
I couldn't understand that story at all.
大体(だいたい) – Roughly; mostly
例: 話の内容は大体分かりました。
I mostly understood the content of the conversation.

実は(じつは) – Actually; to tell the truth
例: 実は、プレゼントを用意していません。
Actually, I haven't prepared a present.

〈文型リスト〉

① ～ながら

意味: While doing (simultaneous actions)

例: 歌いながら運転します。

I drive while singing.

② ～ようになる

意味: To reach the point where; to become

例: 日本語が話せるようになりました。

I've reached the point where I can speak Japanese.

③ ～といえば

意味: Speaking of ~

例: 日本といえば富士山ですね。

Speaking of Japan, it's Mount Fuji.

④ ～てくる

意味: Gradually (from past to now)

例: 暗くなってきました。

It's gradually getting dark.

⑤ ～そうです

意味: It seems; I heard that (depending on context)

例: 明日は雨が降るそうです。

I heard it will rain tomorrow.

⑥ ～とともに

意味: Together with; along with

例: 彼とともにプロジェクトを進めます。

I proceed with the project along with him.

⑦ ～ばかりでなく

意味: Not only ~ but also

例: 彼は歌が上手なばかりでなく、ダンスもできる。

He is not only good at singing but also at dancing.

⑧ ～によって

意味: Due to; by (means of)

例: 技術の進歩によって生活が便利になった。

Life became more convenient due to technological advances.

⑨ ～とか

意味: Things like ~

例: 彼は寿司とかラーメンが好きです。

He likes things like sushi and ramen.

⑩ ～わけではない

意味: It's not that ~

例: 嫌いなわけではないけど、食べたくない。

It's not that I dislike it, but I don't want to eat it.

〈学習のコツ〉

語彙練習: 単語カードを作り、1日10語ずつ覚える。例文も必ず作る。

文型練習: 各文型の例文を作り、自然に使えるまで繰り返す。

音読: スクリプト全体を繰り返し声に出して読むことで、リスニングとスピーキングの両方を強化。

〈スクリプト〉

M: こんにちは、みなさん！！お元気ですか。

「Cotoラジオ」、本日も始まりました！！

パーソナリティの私(わたくし)金城と、木下先生でお届けしてまいります。

木下 先生、よろしくお願いいたします。

A: はい、どうぞよろしくお願いいたします。

M: 東京もだいぶ冬らしくなってきましたね。

A: そうですね。今年は夏が長かったから、秋がとても短く感じます。

M: 先週からCotoのスクールでもクリスマスツリーが飾られていますね。

A: はい、いよいよクリスマスが近い雰囲気になってきましたね。

M: ということで今回の「日本、なぜ、どうして？シリーズ」、本日のテーマは...

・コーナー1: 本日のテーマ&スモールトーク

M: 「日本のクリスマスってどうなの？」です。

まず初めに質問です。木下先生は「クリスマス」が好きですか？

A: ええ、もちろん。毎年とても楽しみにしている年末の一大イベントです！！

M: そうですよ！日本の年中行事の一つとして、今や定番になった「クリスマス」。でもこれはいつ
たい、いつからお祝いするようになったのでしょうか。木下先生はご存知ですか？

A: いえ、まったく分かりません...。少なくとも私が子どもの頃からありましたが、言われてみれば、これはもともと日本の伝統的な行事ではないですね...。

バレンタインとかハロウィンのように、きっと外国から入って来た風習ですね。

M: はい。仰るとおり、そうなんです。もともとは外国から来た「クリスマス」。
では、いつどのようにして今のスタイルに定着したのか、今日はこれについて
お届けしたいと思います。

・コーナー2: 「クリスマス」と言えば！

M: 木下先生、「クリスマス」と聞いて思い浮かべるのは事がありますか？

A: なんと言ってもこれ！「チキン」「ケーキ」「プレゼント」、この3点セットが
クリスマスには欠かせないマストアイテムです！

M: そうですね。定番中の定番アイテムですね！言わば「クリスマス三種の神器」です！

「三種の神器」はそろえていればとても良い物になるという意味です。日本では七面鳥の代わりに「チ
キン」です！

なのでケンタッキーフライドキッチンが活躍するのです(笑)

A: ええ、そうです！私、毎年楽しみです。今年はどこのチキンを買おうかな、どのお店のケーキにしようかな、誰にどんなプレゼントをしようかな...。
と考えただけでもウキウキ、ワクワクしてきます！

M: 嬉しそうですね～！私も普段はそんなに食べない「チキン」と「ケーキ」、なぜか12月になると食べたくなるんですよね～。いや、食べたくなるというより、「食べなければ！」という気持ちになると言った方が正しいかもしれません。
そして何故かこの時期はどのお店で買い物しても「ご自分用ですか。プレゼントですか。」とか「ラッピングはどうされますか。」なんて訊かれることが多くて...。
不思議と「誰かにプレゼントしなければ...。」という気持ちになったりします。

A: わかります、わかります。何だか気持ちも大きくなるんですよね、この時期って。

M: では、木下先生の大好きな「クリスマス」、いつ頃日本に来たと思いますか。

A: そうですねえ...。日本の歴史から考えると、欧米の文化が一気に日本に入ってきた明治期の「文明開化」、それが戦後の1950年代とか...ですかねえ。

M: それがですね、実はもっとずっと以前に日本に入ってきたんですよ。

A: えーっ！それはびっくりです！いつなんですか。

・コーナー3:「日本のクリスマスの起源」

M: それはなんと16世紀(つまり1600年代)ごろだったんです。

A: そんなに昔なんですね！

M: はい、そうなんです。日本の歴史の教科書の超定番人物(つまり歴史上の有名な人といえば)、テストに必ず出る「フランシスコ・ザビエル」。彼とともに来日した宣教師が、1552年日本国内でクリスマスの前身である「降誕祭(こうたんさい)」のミサを現在の山口県で行ったのが最初、と言われていています。

A: へえ、そうなんですか。元々は宗教行事として日本に入ってきたんですね。それがいつ、どうして今のような年末イベントになったんですか。

M: 今のような「クリスマスイベント」として日本に広まったのはそこからずっと後の1900年、銀座に出店した輸入雑貨を取り扱う食品スーパー、「明治屋」が行ったクリスマス商戦(商品を売るための作戦)がきっかけと言われています。

A: 何だかチョコレートメーカーが始めた「バレンタイン」イベントのようですね。

M: 本当ですね。海外のイベントが日本で広まるきっかけには大体「仕掛け人」＝目的のために動いた人がいますよね。そしてさらに1906年には新聞広告にサンタクロースが登場し、クリスマスツリー、クリスマスケーキ、プレゼントを用意する家庭がふえていったそうです。

A: 銀座なんてオシャレな都会ばかりでなく、もっと一般的に日本中に広まったのはいつ頃なんですか。

M: いい質問ですね！なんとこれ、大正天皇が亡くなった12月25日が祭日になったことをきっかけとして、多くの人々にクリスマスが広がったんだそうですよ。その後、1960年ごろには家族でケーキとプレゼントでお祝いする日として定着したんだそうです。

・コーナー4:「今のスタイルはいつ頃から？」

A: 企業が紹介したイベントが天皇崩御、つまり天皇が亡くなる事をきっかけに広まるなんて、なんとも不思議な偶然ですね。そうすると日本のクリスマス、元々は家族でお祝いするイベントだったということですよね。今のような「カップルと過ごす日」スタイルになったのはいつ頃なんですか。

M: おっしゃるとおり、最初は「子どもの行事」という側面が強かったのですが、80年代以降、恋人同士で過ごすロマンチックな日としても認識されるようになってきたんです。日本経済は1980年代後半から1990年代初頭にかけて、空前の好景気「バブル期」でしたからね。給料は毎年右肩上がり、海外ブランドがどんどん日本に入ってきて、外で働く女性も増え、海外旅行も当たり前な時代。この時代の勢いを受けて、若者の過ごし方がどんどん派手になっていき、若いカップルが高級レストランでフルコースデートも当たり前。こうしてクリスマスが恋人たちのビッグイベントになった...という訳です。

A: いい時代だったんですね～。そんな時代背景があって日本独自のクリスマス文化が広まって、いつしか家族より恋人を優先する「恋人と過ごす」日というイメージが定着したんですね。お正月に恋人と過ごすことが多い海外とは全く逆ですが、日本ではお正月に家族や親族と過ごす家庭が多いですから、クリスマスとお正月がちゃんと役割分担してるんですね！

M: そうですね。他にも日本ならではの過ごし方として、「前日のイブのほうがり上がる」とか「ケーキやフライドチキンを食べる」とか「枕元にプレゼントを1つ置く」なんていうのがあります。

A: ジャパンオリジナルクリスマス！！海外の方たちには不思議な光景でしょうね～。

・コーナー5:「クリスマスといえばもう一つ」

M: そうでしょうね。では最後にもう一つ、日本のクリスマスをロマンチックに盛り上げているのは何だと思いませんか？

A: イルミネーション！！何と言ってもこれしかないです！

M: そうです！大正解！！ 木下先生は見に行ったりしますか。

A: はい、もちろん♪ 11月末から12月25日にかけてはあちこちでイルミネーションをしていますから、毎週どこへ行こうか楽しみにしているんです！

M:そうですね。冬の冷たい澄んだ空気の中で見る幻想的な光景は夢のようですよね。最近は海外からの方もこれを目当てにいらっしゃる方もいるんだそうですよ。

A:そうなんですね。

■エンディングトーク：出演の感謝 & 締め言葉

M:それでは、今日の「なぜ、どうしてシリーズ」テーマ「日本のクリスマス」は以上となります。これをお聞きの皆さんはいかがでしたでしょうか。木下先生はどうでしたか。

A:はい。子どものころからずっと当たり前に過ごしていた「クリスマス」が、実は歴史や経済のいろいろな偶然の産物だと分かってとても不思議な気持ちになりました。今年はいつもとは違った気持ちで過ごせそうです。

M:このラジオでは皆さんが「なぜ？どうして？」と思う事に答えていきたいと思います。ぜひみなさんが思った「疑問」をこのラジオに送ってください。できるだけお答えしたいと思います。たくさんのご質問、お待ちしております。それではまたお会いしましょう。木下先生、どうもありがとうございました！！

A:ありがとうございました！！